

情報交差点・心と心の交わり

## あじま〜

大好きな生きものをもっと知って…

市田さんから野鳥とチョウのワークシートプレゼント！

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020



4月4日（月）、やんばる森のトラスト副代表の市田豊子さんがおおぎみこども園のでいご組の園児に野鳥とチョウのワークシートをプレゼントしてくれました。

このワークシートは市田さんが昨年の勤労感謝の日のプレゼントでもらった手作りメダルのお返し。園児からのプレゼントが嬉しく、園長先生からおおぎみこども園の子は自然を見るのが大好きと聞き、子どもたちにもっと関心を持ってほしいと思い、身近にいる野鳥とチョウについて一緒に勉強したいと前々から計画を立てていました。

市田さんからヤンバルクイナやノグチゲラの写真を見せてもらった園児たち。すぐに「ヤンバルクイナ」と答えるなど、物知りな面をみせてくれました。與那城晶くんと前田真冴くんは朝、園庭で採集したチョウを見せ何のチョウか聞くなど興味津々。園児たちの関心の高さに市田さんも驚き喜びました。

生きものが大好きなでいご組の園児たち。市田さんは「ワークシートには身近にいる野鳥やチョウの種類が載っている。園庭や外で生きものを見つけた時にはこれを活用してどこに何がどこにいたかを教えてほしい」と園児たちをお願いをしました。

たくさん遊んで、たくさん発見をして将来の鳥博士、チョウ博士を目指してください。







### 4月8日大宜味小学校入学式

### 4月7日大宜味中学校入学式

### 4月1日おおぎみこども園入園式



入学おめでとう

幸野朱李	平良瑛茉	平良日涉	高橋怜士	大城蓮	湧川陽太
平良碧琉	知念花純	宮城生楽	神里梨帆	金城美宇	新城エレナ
水本歩花	三丸ふたば	高澤良武	比嘉琉士	上地貴子	光部陽介
山城柚音	親川桜	濱元千莉	ヘルリック・リビア・愛	新垣莉愛乃	
若生麻央	佐久川己央	朝倉佑紀	男子8名	女子18名	計26名

大城青夏	嘉陽思珠那	平良夏音	名城侍	宮城重磨
福地飛楽	澤野天藍	宮城泰利	平良琉之佑	宮城瑠依
宮城優	大城桜愛	宮里葵衣	宮城望夢	宮城遼楠
吉田愛美	金城ゆうの	照屋溪空	屋我浩大	廣河天俐
眞喜志光莉	大嶺來那	下地倅生	平良芽楓	崎山絵
		男子10名	女子15名	計25名

でいご組 (5歳児)

島袋隼輔	宮城明和	前田真冴	古我知大翔	宮城祐杜
與那城晶	知念美真	中井架翠実	本領天翔	大城 周
宮城志和	我那覇貴羅	島袋結咲	宮城博音	前田 愛
宮城翠	池原直弥	知念美沙	城間玄空	川上 虹
田仲京華	岩永ゆう	男子12名	女子10名	計22名

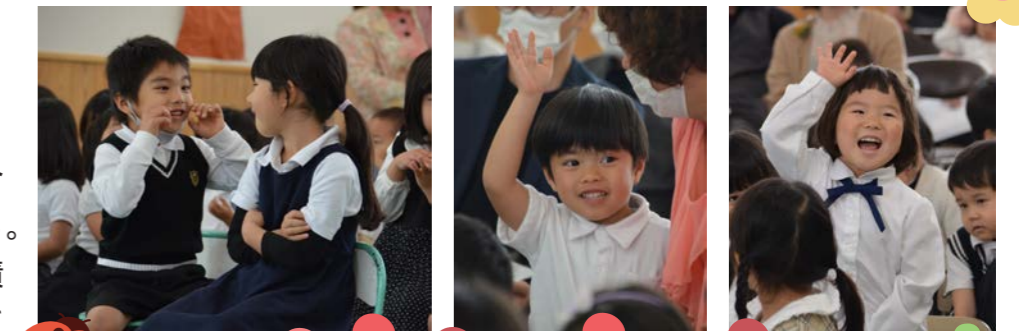


入学おめでとう

4月7日（木）、令和4年度大宜味中学校入学式が行われました。まっさらな制服を着け、少し緊張した面持ちの1年生。

1年生を迎え、生徒会長の我那覇藍貴さんは「中学校には運動会や合唱コンクール、くがに一発表会など学生生活を彩る活動がたくさんある。3年間の学校生活はあっという間。夢中になれることや目標を持って積極的に行動してほしい。わからないことがあったら先輩や先生に聞いてほしい」と新入生を歓迎。

新入生を代表し、金城ゆうのさんは「中学校に通うのが楽しみでしかたなかった。期待と希望に満ち溢れているが不安と緊張もある。気を引き締めて一つ一つのことに挑戦していきたい。大宜味中学生と言う自覚を持ち勉学に運動に励みたい」と決意表明しました。



入園おめでとう



4月1日（金）、おおぎみこども園において令和4年度おおぎみこども園入園式・進級式・始業式が行われました。

5歳児から0歳児まで今年度の園児は全部で101名。式には幼児部のでいご組さん、ゆうな組さん、ひまわり組さんの園児と新しくおおぎみこども園の仲間になる園児が参加。

政信園長先生は「体を動かし、ごはんをたくさん食べる元気いっぱい、お友達や先生と仲良くできる思いやりいっぱい、いつもきらきら笑顔の輝きいっぱいの園児を目指してお友達や先生と一緒に頑張りましょう」と園児たちを応援しました。

楽しいこといっぱいのこども園。遊びや生活の中で体や心を成長させてください。



4月8日（金）、令和4年度大宜味小学校入学式が行われました。今年も規模縮小の入学式とはなりましたが、新1年生たちは家族や6年生のお兄さん、お姉さんに見守られながら颯爽と入場。

新入児童呼名では、担任の森本葉先生に呼ばれると元気にお返事し、お祝いのあいさつもしっかりと相手の顔を見て聞くことができました。

児童を代表して6年生の湧川陽菜さんは「好きなことも苦手なことも自分ができ限りの力を使って頑張ってください。もしできないことがあったら先生やお友達が教えてくれるので安心してください。たくさんの初めてのことがあって心配や不安になることがあると思いますが、私達に相談してくれば全力でサポートします。ともに学び、遊びたくさんの思い出を作りましょう」と歓迎しました。1年生も「ドキドキドン！一年生」を元気よく歌い、みんなの歓迎に応えました。





『大宜味村史 人と自然編』から 植物を利用した魚毒漁「ササ」について紹介します。

文頭には、田嘉里（嘉）、謝名城（謝）、喜如嘉（喜）、饒波（饒）、大兼久（兼）、大宜味（宜）、根路銘（根）、上原（上）、塩屋（塩）、屋古（屋）、田港（港）、押川（押）、大保（保）、宮城（宮）、江洲（江）、津波（津）の略字を付しています。なお、白浜については調査を行なうことが叶わず、記載がないのでご了承ください。

第3章 自然利用の伝統的知識 第1節 自然利用の景観

採取・捕獲 ササについて

魚毒を使った漁については、江洲だけがササーと呼んでおり、大概の集落ではササと呼んでいる。ただし塩屋、屋古、宮城ではササに該当する方言は得られていないが、近くに大きな川がないことも関係しているかもしれない。また、話者によって経験値が異なることもある。また、田嘉里ではナガリザサという言い方も確認されている。ササに使われる植物の大半はイジュであった。

以下、聞き取りによる。

嘉: ササグサ（ルリハコベか）といった。海にはあまり行かなかったのでイジュを海で使ったことはないと思う。戦後はデレス（デリス）を使って海でササをした。塩分のあるところでは効果があった。量を多くして川でも使ったがダメだった。

謝: ササに使ったのは赤い実がなるワジク（サンゴジュ）もある。ササバーキというものもあった。デリスは砕いて川に流すと川が牛乳の様に真っ白になった。川では効かないが海では抜群の効果があった。

饒: ケラマツツジはササによい。サツマサンキライの葉っぱを砕いてササに使っていた。

宜: ルリハコベは海（の潮溜り）でササに使った。イジュに比べ力は弱く、川で使うときは小さい川で使った。

根: ルリハコベをササに使った。

上: ルリハコベを海のフィシ（干瀬）で突き砕いてササにした。

塩: （新城和治氏談）子供は身近にあるルリハコベを一番に使い、それが手に入らないときにイジュを使った。デリスがエーガイの山中に自生していることから、大宜味村ではこれをササに使った形跡がある。

江: 小さい頃、（大保の）川で年寄りがやっていた記憶はある。デレスーというカズラ（つる植物）を使ったと思う。

津: ササに使う葉をササバーと言っていた。ササに使ったのはイジュとワジチバー（サンゴジュ）、幼いながらに使い分けてやった。ササは内緒にしないと、知られた場合は罰金があった（※T14年生：この時代には決まりがあった可能性がある）。戦後、誰がしたのか分からないが、ササをしてエビからウナギからみんな浮いていた。

ササをした犯人は捕まえられなかった。毒なので浮いていた魚等は食べなかった。若い青年達がやったと思う（青酸カリを使用したと思われる）。



イジュ（方言名：イジュ、イズ、イズー、ンジュ）



ルリハコベ（方言名：ミンナグサ、メンナ、ササグサ）



サンゴジュ（方言名：ワジク、ワジチ）



デリス（方言名：デレス、デレスー）



# 村史編さんだより

第133号 2022年5月1日 大宜味村村史編纂係44-3009



大宜味村史『人と自然編』が完成しました！



昔から大宜味村の人々は、きびしい生活の中で、豊かな自然の恵みを糧にして暮らしてきました。自然との関わりは生活の一部であり、それらは動植物の方言名として、また、利用するための知識として、世代を超えて伝わってきたもので、大宜味村の“記憶遺産”とも言えます。

しかしながら人力・荷車および薪を利用した生活から、車や電気・ガスを利用する生活に変わり、これらの生活環境の変化から、この記憶遺産も確実に消滅しようとしています。

自然と共に歩んできた大宜味村の歴史を理解し、この豊かな自然と先人の知恵の遺産を次の世代へ残すことを目的とし『人と自然編』を発刊しました。

本書の発刊にあたり、延べ51回・合計96時間（動植物505種）に及び聞き取り調査に協力して下さった村民の皆さま、調査・執筆・構成や助言で事務局を支えて下さった専門部会の委員の皆様方に感謝いたします。

## 大宜味村史『人と自然編』

### もくじ

グラビア／発刊のこぼ／あいさつ

#### 第1章 大宜味村の自然

- 第1節 大宜味村の地形と地質
- 第2節 大宜味村の植物
- 第3節 大宜味村の動物
- 第4節 大宜味村の自然（総括）

#### 第2章 シマジマの自然と暮らし

- |         |         |
|---------|---------|
| 第1節 田嘉里 | 第2節 謝名城 |
| 第3節 喜如嘉 | 第4節 饒波  |
| 第5節 大兼久 | 第6節 大宜味 |
| 第7節 根路銘 | 第8節 上原  |
| 第9節 塩屋  | 第10節 屋古 |
| 第11節 田港 | 第12節 押川 |
| 第13節 大保 | 第14節 宮城 |
| 第15節 江洲 | 第16節 津波 |

#### 第3章 自然利用の伝統的知識

- 第1節 自然利用の景観
- 第2節 動植物の方言および記憶と記録
- 第3節 未来に向けて

あとがき／索引／執筆者一覧（全604頁）

### 【各編の構成】

#### —第1章 大宜味村の自然—

1995年に発刊された「大宜味村の自然」をもとに新しい情報を加え、大宜味村の地質・地形から動植物に至るまで、自然の全体像を意識しやすいうようにまとめ、大宜味村の自然の姿を浮き彫りにしました。

#### —第2章 シマジマの自然と暮らし—

聞き取り調査で得た明治中期から本土復帰頃までの「人と自然の関わり」に焦点を当て、日々の生活を営むなかで身についた“生きた知識や知恵”をまとめました。字ごとに動植物の方言名やその利用法をコンパクトに集約しており、言語の豊かさや暮らしと生物多様性を実感できる内容となっています。

#### —第3章 自然利用の伝統的知識—

聞き取り調査で得られた記録をもとに、水・環境・薪・衣食住・方言などの特筆される項目について、写真や図を多用し見やすいようにまとめました。我々の祖先と自然の関係性を演繹（えんえき）し、大宜味村の宝物“記憶遺産”として、後世に残す試みを行なっています。

※各公民館、関係機関に配布予定。図書室でも閲覧できますので活用下さい。販売に関しましては、詳細が決まり次第お知らせします



# 「しまふとうば」ぬくとう 76



5月15日に復帰50年になる。政治的な話題になるが記してみたい。

50年前の5月14日の夜、琉大2年次になったばかりの私は同郷の先輩がバイトをしている那覇市の城岳小学校の宿直室にいた。沖縄が日本に復帰する前夜である。宿直室で沖縄の日本復帰について色々議論した。かつては「琉球王国」という独立国であった沖縄にとって日本は「祖国」なのか？「日本復帰」ではなく「日本への併合」なのか？沖縄は琉球として独立すべきではないのか？1609年の琉球への島津の侵入、以降の実質的な島津による支配、1872年琉球国から琉球藩へ、1879年の廃藩置県により琉球藩から沖縄県へ（琉球処分）、第2次世界大戦後の米国の統治、そして1972年の日本復帰、という歴史の荒波に翻弄されてきた琉球・沖縄の歴史をどう見るか、将来はどうなるか、どうあるべきか等々、議論は夜明けまで続いた。日本への復帰という5月15日は朝から雨だった。天も過酷な琉球・沖縄の歴史に涙している、と素直に感じ入っていた。雨の中、近くの与儀公園では当たり前のように日本と米国に対する抗議集会（県民大会）が行われた。日本復帰前には「核抜き、基地の本土並み返還」が約束されていたはずが、それも反故にされ基地は多くが残り続け、返還地等には自衛隊が配備されるという、相変わらず基地の島は継続したままである。

米軍基地の過重負担をはじめとする沖縄への差別問題等の解決を図るためには生前、奥武山公園で行われた県民大会で翁長知事が県民のみならず全国へ訴えた「イデオロギーよりアイデンティティー」「うちなんちゅ うしえーてー ないびらんどー（沖縄人を馬鹿にはしてはいけないよー）」に集約される。あの時の翁長知事の表情は生涯忘れられない。

毎年のことなのだが5月15日には沖縄の過去・現在・未来について改めて考えてみたい。

尊敬する沖縄の民謡歌手であった嘉手刈林昌の代表曲「時代の流れ」は見事に沖縄の状況を唄っていた。

「時代の流れ」 唐（とう）ぬ世（ゆー）から 大和（やまとう）ぬ世（ゆー）

大和（やまとう）ぬ世（ゆー）から アメリカ世（ゆー）

珍（ひるま）さ変（か）わたる 此（く）ぬ沖縄（うちなー）

〔唐の時代から日本の時代、日本の時代からアメリカ占領の時代、はげしく変わったこの沖縄〕

## 今月の生きもの

## リュウキュウキビタキ♂：ヒタキ科

春の陽気が気持ちいいですね～。こんにちは。

わたくしリュウキュウキビタキです。眉とのどから胸にかけての鮮やかな黄色が素敵でしょ？北海道から九州にもキビタキはいてその子たちは夏に渡ってくる旅鳥なのだけれど、わたくしたちは琉球諸島固有亜種。トカラ列島から八重山諸島の森に生息する留鳥です。やんばるでは比較的森の深いところで見られます。

ちょうど今頃「チュイ、ッチー」と高く澄んださえずりが、森に響いているから森を訪れた時は耳を澄ませてみて。



撮影：村山望

2日（月）区長会

3日（火）憲法記念日

4日（水）みどりの日

5日（木）こどもの日

6日（金）PTSA 総会

15日（日）沖縄県復帰50周年式典

村野球大会

5月8日



ゴーヤーの日

19日（木）学推総会 教育講演会

20日（金）（園）春の遠足（全園児）

21日（土）わんぱく体験団①

22日（日）村野球大会

26日（木）定例教育委員会議

27日（金）（小）プール開き

## 5月の行事予定